

発行 車体発 18 第 192 号  
2019 年 1 月 1 日

## 2019年新年のご挨拶

会長 網岡 卓二（トヨタ車体㈱ 相談役）からの新年のご挨拶をお知らせいたします。



あけましておめでとうございます。

2019年の新春にあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年の車体業界を振り返りますと、国内市場は前半、前年を若干下回ったものの後半は回復基調となり、一年を通じ前年並みとなりました。一方、当会特有の非量産車は前年をピークに若干減少しました。その結果、会員生産台数全体は一昨年並みで、概ね計画どおりとなりました。また、多くの会員の皆様におかれましては、引き続き負荷の高い状況が継続したものと考えております。

なお、昨年1月～11月の当会会員生産台数を見ますと、全体では前年比9.9%の210万台となり、その内、委託生産車を除く当会特有の非量産車は同9.9%の17.3万台と2年ぶりに前年割れとなりました。

この様な中、当会は「安全対応活動の推進」「環境対応自主取組みの推進」「中小企業支援活動の推進」「活性化活動の継続推進」を主要4項目と位置づけ皆様のご協力のもと推進してまいりました。

「安全対応活動の推進」では、車両法規改正への意見反映と円滑な対応や会員の皆様の技術的困りごとへの対応に取り組んでおります。UN-34の適用に対し新規検査をスムーズに進めるため、継続生産車及び新型車に関わる燃料タンクの交換、増設時の取扱い、関連部品の変更等を行った場合の取扱いを関係官公庁等と調整し、会員の皆様に展開させていただきました。また、自動車点検基準の改正に伴う対応では、車両総重量8トン以上の自動車の使用者に対し、架装されている「ツールボックス」について3か月ごとの点検が義務付けられ、適切な対応を図るためツールボックス等の解釈を関係官公庁、関係団体と調整して明確にいたしました。これに関しましては、当会会員様に加え、トラックユーザー様を含む関係の皆様にも展開させていただきました。

「環境対応自主取組みの推進」では、環境基準適合ラベル取得の推進に取り組んでおります。会員の皆様とのコミュニケーション、更に部会の協力も得ながら個社の課題解決にも取り組み、取得機種は現在、2017年度から3機種増の222機種となりました。また、新環境基準適合ラベルにつきましては、2017年度から5機種増の191機種となりました。これは会員の皆様のご理解とご協力のお陰であり、お礼申し上げます。継続して取り組んでおりますCO<sub>2</sub>、VOC、産業廃棄物の削減とも、皆様の協力のお陰で目標を達成できる見込みです。

「中小企業支援活動の推進」では、税制改正や規制改革などの各種要望を提出し、その実現に向け関係団体と連携した取組みを推進しております。税制改正では自動車関係諸税の負担軽減、簡素化に向け、本年10月の消費税率の引き上げを踏まえ、2018年を勝負の年と位置づけ各支部長にも協力いただき各地での陳情活動にも参画いたしました。また、コンプライアンス意識の醸成をサポートする「コンプライアンスサイト」を当会ホームページに設置し運用しておりますのでご活用をお願いいたします。

「活性化活動の継続推進」では、車体業界の認知度向上を図るためメディアニーズを把握しながら、プレスリリースの積極的な発信を行っております。また、中小会員ネットワーク強化WG活動では直接会員様の意見をお聞きし、ネットワーク強化のためのしくみを検討しております。

以上のように、皆様のご協力により事業計画は概ね計画どおり進捗させることができました。

さて、我が国経済は自然災害に伴う影響等により実質四半期GDPが昨年2回マイナスとなりました。ただし、年後半には鉱工業生産の持ち直し、輸出の回復が見られ企業収益は堅調を維持しています。また、雇用情勢は失業率が低水準で推移し、有効求人倍率もかつてない高水準を維持し、個人消費も持ち直してきています。また、インバウンド需要も自然災害の影響で減少したものの、10月には持ち直しに転換しました。本年は消費税率引き上げに伴う景気への影響が懸念されますが、影響を最小限にするために諸施策が検討されており、景気の落ち込みは小さいものと考えております。

一方、世界の政治、経済は貿易摩擦の影響により、不安定となることが懸念されます。そして、2020年の東京オリンピック・パリオリンピックの準備は終盤を迎え、2025年の大阪万博の準備がスタートしていく中で「働くクルマ」の役割は引き続き大きいと思います。こうしたことから2019年の「働くクルマ」の国内需要は昨年を若干下回るものの、安定して推移するものと考えております。

これからも「会員に喜ばれる、頼りにされる車体工業会」を目指し活動を更に充実させていく所存ですので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員並びに関係各位のますますのご繁栄とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

(本件の問合せ先)

日本自動車車体工業会 事務局 瓜谷